■ロシア：連邦政府、2035 年までの電力施設計画を採択

2017 年 6 月 19 日付のロシア連邦政府プレスリリースによると、メドベージェフ首相による同年 6 月 9 日付政令への署名を経て、「2035 年までの電力施設計画」が採択された。同計画は、国内の電源開発、送電設備建設に関する長期計画であり、全国の発電所の出力増強や基幹送電線の拡充等の計画に関するリストが示されている。また、2035 年までの電力需給バランスの見通し等についても、ロシア全国大と各地域別のデータとして示されている。同計画は、発電事業者や系統運用者等より得られた情報や、今後の電力需要等に関する予測データに基づき策定されており、電気事業者の今後の投資決定や開発プログラムの策定に資する資料として位置づけられている。